

# 2021年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み計画について

当社は、輸送の安全の確保が事業の骨幹であるとの認識に立ち、今年度は下記の行動指針・目標等を定め、安全確保に取り組んでまいります。

2021年5月  
阪神バス株式会社

## 1. 輸送の安全に関する目標

### 【安全スローガン】

**全社一丸となって事故防止に全力を尽くす**

### 【行動指針】

基本運転を徹底する（気持ちを込めた丁寧な操業）

事故防止につながる施策を絶えず考え、行動に移す

一人ひとりの力で『安全文化』を作る

### 【輸送の安全に関する目標】

#### 安全目標

- (1) 重大事故を何としてでも撲滅する
  - ・周辺状況に応じた安全速度の徹底
  - ・交差点内では速度を抑え、歩行者・自転車の保護運転の徹底

- (2) 有責事故の削減

有責事故 60件以下（ATS※委託路線を含む）を達成する

※尼崎交通事業振興（株）

- (3) 輸送の安全に関する予算額
- |            |        |
|------------|--------|
| 車両関係（更新投資） | 3億1千万円 |
| 教育・安全設備関係  | 4千万円   |

#### その他目標

- (1) 道路交通法、道路運送法等の遵守を徹底する
- (2) お客様が安心できるサービスを提供する
  - ・服装、身だしなみ、マイク案内の積極的な活用、丁寧な旅客対応

## 2. 具体的な取り組み計画（教育・指導）

- ①事故防止への意識、緊張感を継続的に高めさせるため、事故防止教育を高頻度（年4回）で実施する。
- ②比較的事故発生率の高い、経験未熟・勤続年数の浅い若年層を継続かつ重点的に指導するため、フォローアップ教育を独車3か月後、入社1年後を目安に2回に分けて実施する。
- ③点呼強化週間を設定し、「運転者に対する指導及び監督の指針」に基づいた厳正な点呼を実施する。
- ④新型のデジタコを活用した速度管理等の指導を継続して行う。
- ⑤事故防止教育等で収集したヒヤリハット情報（ドラレコ映像）を活用し点呼等で注意喚起を行う。

以 上